

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

### 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテや画像検査報告書を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや画像検査報告書の情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	人工知能を用いた画像検査報告書の検索に関する研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	医療情報学講座 助教 松田卓也
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2027年3月31日
対象となる方	2003年6月から2025年3月に愛媛大学医学部附属病院で画像検査報告書が作成された患者さん(検査時点で20歳以上の患者さん)
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、生年月、身長、体重、病名、既往歴、現病歴、前治療歴、画像検査報告書、検査情報、画像データ 等
研究の概要 (目的・方法)	<p>画像検査報告書は、CTやMRIなどの画像検査を見て読影医が作成する報告書です。施設内の症例を検索するためには、一般的な文字検索では難しいことや、報告書の記載中には疾患名が明らかでない場合が多いことから、過去レポートを検索することに工夫が必要でした。近年、人工知能技術の発展によりchatGPTなどのLLM(Large Language Model: 大規模言語モデル)の性能が飛躍的に向上し、注目が集まっています。</p> <p>そこで、本研究ではLLMを用いて、記載中の文書から過去の画像検査報告書を検索する方法を見つけて検証することや、読影医にとって有用な知見を得られるかどうかということを検討します。</p> <p>このため、過去に当院で作成された画像検査報告書を検索対象として用います。この研究が実用化されれば、医師がこれまでに積み重ねられた情報を用いやすくなって診断技術を磨きやすくなり、将来の患者さんの正確な診断に寄与できることが期待されます。</p>

個人情報保護 について	<p>この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学大学院医学系研究科医療情報学講座 松田卓也 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-6595</p>